

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生三)

発行／総 合 福 祉 施 設
御 殿 場 十 字 の 園
施設長 高橋 雅昭

〒412-0023 御殿場市深沢1465の1

TEL 0550-83-1999

FAX 0550-82-5189

<http://www.jyuji.ne.jp>

e-mail:info@g.jyuji.or.jp

2024
No.234

印刷／大 和 印 刷 株 式 会 社

(聖句)喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



この世をば我が世とぞ思ふ望月の欠けたることも無しと思へば 藤原道長

「今宵は楽しい。望月(十六夜)は満月から灰かに欠けているが、娘たちは皆息災で一人として欠けることなく『和』を成している。」訳：与謝野晶子

御殿場デイサービスセンター&ふじざくら：「職員の『和』を持ってお仕事しましょう。」

イルド

その日には、馬の鈴にも、「主に聖別されたもの」と銘が打たれ、

ゼカリヤ書 十四章二十節

日本では虫の音や鳥の囀りが文学的な趣を持ち、詩など様々な作品に綴られている。雨や風の音も表現する言葉がたくさんある。一つ一つの音色は、自然が語りかけてくる声として心を揺り動かされるのかもしれない。

車いす画家の星野富弘さんは、でこぼこの道を行く時、上手く進めず苦勞をされる。そんな時貰ったのが一つの鈴。真直ぐな道では鈴の音はあまり鳴らないが、でこぼこの道では、鈴の音がリズムを取りながら鳴る。苦勞する道も鈴によって楽しみに変わったと星野富弘

さんは言う。

被爆地広島には清鈴園と言う特別養護老人ホームがある。遠くまで響き渡るような大きな鐘になることは難しいかもしれないが、小さな風や小さな手でもなり続ける鈴の音のように、被爆者の思いを世界に届けたいと活動は続けられている。



理事長 鈴木 淳司

課長紹介



「前進」

寮棟課長 武藤 繁生

4月の異動で職員の皆さんに不安を与えたことと思います。「なぜ？」と思われた方もいらっしゃるでしょう。安心してください。「大丈夫、心配するな、何とかなる」と一休さんも申しております。

サービス質向上委員会から、皆さんにたくさん言葉をプレゼントしてきました。覚えていますか？ この言葉もその一つです。これらの言葉は私自身を救ってくれた言葉であり、皆さんにもお裾分けできたらと思い、委員会を通じて作らせていただきました。

環境が変化するときやチャレンジするとき、不安と緊張で押しつぶされそうになることがあります。「職員が足りない」「思うように事が進まない」毎日がそんな状況だと感じる方もいるかもしれません。しかし、いつしかそれらは笑い話になり、やがて全ては過去のものとなります。雲の上はいつも晴れているのです。目の前で起きていることはとらえ方でプラスにもマイナスにもなるものです。

人生の多くの時間を過ごす場所が職場です。今の皆さんが、自ら選んだこの仕事を心の底から楽しんでもらうことが私の一番の願いです。



大丈夫、心配するな、何とかなる

一休宗純

皆さんも知っている一休さんの言葉です。一休さんは亡くなるときに遺書を寺の弟子たちに残しました。「この先、ほんとうに困ることがあったら、これを開けなさい」と言い遺しました。何年かたって、寺に大変な難問題が持ち上り、どうしようもないので、弟子たちが集まって、その封書を開いてみると、そこには「しんばいするな、何とかなる」と書いてありました。とたんに弟子たち一同、大笑いの内に落ちつきと勇気と明るさを取り戻し、難しい問題を解決できた、という話です。

御殿場十字の園サービス質向上委員会

あなたに出会った人がみな、
最高の気分になれるように、
親切と慈しみを込めて人に接しなさい。

MOTHER TERESA

御殿場十字の園 サービス質向上委員会

みなさんから力を頂いています。

地域支援課長 高木 直也

2024年4月1日より、施設から地域支援課長へ異動となりました高木直也です。長い間施設入居の方々と過ごすことが多かったのですが、新たに在宅サービス（訪問・通所・障がい等）やグループホームに関わって行く事となり、特に通所サービスを利用される皆さんとお話する事が増えまして非常に楽しく力を頂いています。これから地域の皆さんに必要なサービスを少しでも多く届けるために職員一同と共に取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



職員紹介



宮地 秀明

7月から2階寮棟の主任に赴任しています。今までは同じ2階のショートステイの主任を務めさせていただきましたが、今後は2階寮棟とショートステイの主任として、今までより多くの皆さんにお会いできるようになりました。入所されている方々、そしてご家族にとって安心して生活できて、十字の園に入所してよかったと言ってもらえるように、施設・環境を今以上に守って充実させていきたいと思えます。小さなこと、どんなことでも結構です。お気軽に声をかけていただければと思います。



原田 明子

昨年度から働いています原田明子です。学ぶ事・覚える事がたくさんありますが、今までの経験を活かして頑張りたいと思います。



古村 真樹

わたしの決意表明：包括支援センターさくら通りでの新しい出会い。訪問しその人の暮らしを知り、違う価値観や人生観に触れ心動かされる。私は目の前にいるその人に寄り添い、自ら幸せを掴めるお手伝いをさせて頂いています。日々感謝。



趣味の写真：
パワースポット巡り

勝亦 奏音

4月から新卒の職員として働かせて頂いています勝亦奏音（かつまたかなと）です。高校で学んできた介護の知識を生かして、楽しく精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



鈴木 泰生

今年度4月から新職員として二階でお世話になっております鈴木泰生です。介護の経験は無いですが、仕事をしていく中で経験を積み色々学んでいきたいと思っています。わからないことが多いですがよろしくお願いいたします。



齋藤 慶太

去年の11月から十字の園の一員として働かせて頂いている齋藤慶太です。一緒に働く仲間や施設にいらっしゃる皆さんに信頼される職員になれるように精進していきます。



3階・かなりあ

～その人らしい生活を～



3階・かなりあでは機能訓練に日々力を入れて取り組んでいます。歩行訓練を行いながらフロア内をお散歩して大窓から見える雄大な富士山を見る、他エリアの皆さんや職員とのかかわりを持つ等日々の生活に楽しみを見つけています。また経管栄養の方で固形物が食べられなかった方が、本人に「食べたい！」欲求を持っていただけるように他部署と協力して口の体操から初めて、筋力をつけるため足のマッサージや、離床時間を徐々に長くして、リハビリをさせていただいて、好きなお菓子と1日1食の食事ができるようになりました。加えて車椅子で自走することもできるまでになりました。他の方も「立ちたい！」という強い気持ちを持っていただいて、リクライニング車椅子から車椅子へ、ベット上での生活から1日ホール内で過ごせるまでに回復した方もいらっしゃいます。3階かなりあでは、全体で皆さんひとりひとりに合ったリハビリを行うことで、皆さんの気持ちに寄り添って、皆さんが目指す目標の実現に向けてケアを行っています。



2階寮棟



月に一度、松崎のワークショップマナからパンの移動販売が来てくれます。パンが大好きなすみれユニットの柴田さんは7月に初めての買い物を楽しめました。たくさんのパンの中から、おやつで一つ、夕食で一つと笑顔で選ばれていました。柴田さんの推しは「小豆がおいしかったわぁ」と“アンパン”だそうです。

ちなみに“たくあんパン”が私のおすすめです。えっ？と思うかもしれませんがたくあんのコリコリ食感が美味です♪ 美味しそうなパンやクッキーがたくさんあり迷ってしまいました。が、また、来月の“マナパン”を楽しみにしましょう。



グループホーム
笑みの里

「笑みの里は毎日が食のイベント！」

グループホーム笑みの里では、毎日3食のメニューを皆さんと職員と一緒に考えています。「あの料理が食べたい！」という希望を伺って「どうやって作るの？」と職員が教えていただきながら、和気あいあいとコミュニケーションを取りながらメニューを決めています。

メニューが決まれば次は買い物です。職員と連れ立って一緒に決めたメニューを、近隣のスーパーマーケットへ買い出しに行きます。スーパーマーケット内で、顔見知りの方と偶然お会いして、井戸端会議が始まることもしばしばありますが、これも地域や社会との繋がりを絶やさないことに繋がっています。

買い出しをしたら次は調理です。皆さんにも得手・不得手ありますので、その方の有する能力に応じて、出来る事をしていただいています。食材を切る、台所に入り火を使い調理する、食材を洗う、調理器具や食器等を洗う、拭きとる等、職員と共同で役割分担をしながら調理活動

を行っています。男性職員など、調理が苦手な職員もやはりいますが、教わりながら日々上達していっています。

自分が食べたい物を自分で決め、買って、自分で作って食べることができる。そんな介護施設はグループホームだけだと思います。今後も笑みの里では、ここにいらっしゃる皆さんの一番の楽しみの一つである「食べる事」には、より一層、力を入れていきたいと思っています。



寮棟

手塚 浩章

私の仕事はシーツ交換でベッドシーツを換えることが仕事です。その仕事の合間に2階・3階の方たちとお話しができることが楽しみです。皆さんが相撲の番組を観ているところに通りかかったとき、私が思わず「あっアビだ！」と言ったら「この力士はアビじゃなくてアエンね。」と教えてくれました。さすが皆さん相撲好きの方が揃っていて、難しい力士の名前もよくご存じです。

「ベッドシーツ」と一口に言っても、一人ひとりのベッドメイキング・セッティング等が異なり、

本当に十人十色という言葉が当てはまります。「習うより慣れろ」で日々仕事していますが、たまに失敗してしまって迷惑をかけたりする事もありました。そんなときでも、何がいけなかったのかを一緒に考えてくれて「ここをこのように工夫すれば、次からは大丈夫よ。」と次に進むことが出来るように、温かく見守って貰っています。きっとここが自分にとって、働きやすい居場所なのだろうと心から実感している今日この頃です。



五味さんぽ

第四回 井万次郎



ごみさんぽ第4回目は神奈川県小田原市255号線沿いにある「井万次郎」です。小田原漁港から直送された新鮮な魚介類と地場産の肉や米を使った小田原の井・定食・一品を食べられます。その日の朝に獲れた新鮮な地魚の井や定食がありリーズナブルに食べられます。井物は普通のご飯と酢飯が選べるようになっていて酢飯好きには嬉しいですね。注文したメニューは回転寿司のようなレーンに乗って届きます。海鮮井は刺身1枚1枚が分厚く切っており食べ応えがあります。自分が頼んだ天井も天ぷらが山ほど乗っかっておりご飯普通盛りにしましたがお腹パンパンになりました。駐車場は30台ほどで土日祝日だけかもしれませんが警備員が誘導してくれます。土日祝日のお昼時は開店時間から並びの列がなくなります。11時開店の15分前くらいに着いていれば開店と同時に席に着けるとと思います。前回紹介したたこ焼きの「あほや」も近くにありま

すので寄ってみてください。



手織りと小物の店 金木屋



姉の営むお店です。

姉はリバティブプリントでバッグや小物を作り、母は機織り機で生地を織り、洋服やバッグを制作し、お店で販売しています。機会がありましたら皆様お立ち寄りください。

田口政子

あとがき

最近流行り WORD は町中華。ここから広がった品に冷やし中華とサンマーメンがあります。前者は全国的に派生し、後者は横浜中華街の聘珍樓発祥。聘珍樓とその傘下店で修行した中華料理店子弟が地元に戻り、味を60余年伝えてきました。全国中華料理生活衛生同業組合連合会によると、サンマーメン分布の最西端は長い間静岡県東部の御殿場市、裾野市、三島市を結ぶ南北線でした。関東圏・静岡県東部までの中華料理店子弟・子女が修行に行くのは横浜中華街というセオリーと当てはまります。それが静岡県中西部を2005年に飛び越し三重県桑名市に届きました。門戸の広がり浸透していく力強さを感じます。そんな存在になれることを願い、この機関誌をお手元に。

(やまもと)

御殿場十字の園 公式Instagramのご案内



御殿場十字の園



相談役セラ(犬)



室長しろ(猫)

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。